

「あら、私より似合ってるじゃない。その眼鏡」

パウダールームで早苗を迎えたのは凜とした声だった。如何にも声の持ち主ですといった風な女性は鏡台に片手をついたまま、すうっと笑みを浮かべる。

すぐに早苗は気付いた。尋ね人が目の前にいることに。

「え？ あ！ す、済みません」

ちよこんと頭を下げながら眼鏡を外し、制服のタイトスカートから取り出したハンカチで軽く拭いた。

おめでとう（私）**眼鏡時空10**（に参加できたね！）

新刊ないけどせめてと16時ちよい前に作ってるペーパーだよ。

とゆー話を次の眼鏡時空向けに書きたいなって思ってます。どんなか全然わかりませんよね。

OLものの百合に挑戦しようかなーって。今まで確実に女子中高生を混ぜてたのね。これが十七歳になると言うことなのか！ と少し寂しく思ったりする必要はなくて、来年はオフィスで働いていない予定なので、今こそ書こうかなって思ったのですよ。

最近、来年以降の居場所、看護学校を探しています。私が連勤術にかかっている間に来年度入試の募集要項がぼちぼち出てきていたので、今週に入って学校案内をいくつか取り寄せてみました。

なんだかんだ言って看護婦さんですからね、表紙には可愛い女子高生（卒業後）が連想されるモデルが使われていたりします。……ん？ 眼鏡っ娘いねえぞ？ いやいや、たまたまこの学校だけです。こっちは、あれ、い・な・い。おいおいおいおい、看護士を志望するぐらいなら日本人の近眼率の高さは常識だろう？ 全員コンタクト着用なんてあり得ないだろう？ どうして眼鏡っ娘いないの？

眼鏡っ娘が表紙の学校案内を送ってくださいました学校には、「眼鏡っ娘に感銘を受けました（意識）」と書いて応募することをお約束しますので何卒よろしくお願いいたします。心にもない志望理由を書くより攻め込める自信はあるんだけど、それで採用してもらえないのかは不明。視界を明らかにするためにかけるのが眼鏡、事実を明らかにするためにかけるのは我が身。来年、笑って報告できますよーに。

毎週眼鏡を替える私なのですが、周りの人は眼鏡が変わっていることに気付くと「眼鏡替えた？」って聞きます。でも、そんな人たちが誰かに「服替えた？」とか言ってるのを聞いたことないんですね。同じ感覚でしょう？ いや、違うか。何と近いんだろうね。修羅場つてるときでもささやかな余裕として眼鏡を替えたりするんですが。



ああ、紙面を埋める前に時間ですね。そろそろ出ないと。ではみなさま、蒲田で。

夏の予定

コミックマーケット86 3日目(日曜日) 東へー49a まにふいくみやほか

きつとこれだけ。貯金と勉強しようね、私。